

授業科目 精神保健看護学概論

【担当教員名】 金谷 光子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
【概要・一般目標：GI0】 本教科は、人々の精神の健康の保持増進、疾病の予防および精神の病を持つ人に対する理解を深め、専門家として適切な援助の在り方とその必要性を学ぶことを目的とする。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 精神の健康を維持増進および予防する必要性が説明できる。 2. 精神の病を持つ人の特性について説明できる。 3. 精神の病を持つ人を取り巻く諸問題について列挙できる。 4. 精神の病が日常生活に及ぼす影響について説明できる。 5. こころの病とセルフケアの関係について述べる事が出来る。 6. こころの病を持つ人の社会復帰に対する社会資源を列挙し、その是非について意見が述べられる。 7. こころの病と家族のあり方について、家族病理・家族教育・家族支援の視点から説明できる。 8. 他職種との連携およびリエゾン看護について説明が出来る。				
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	こころの病とその対象特性について			講義
2	こころの健康を維持・増進および予防の為の施策と社会的諸問題			講義
3	こころの健康と日常生活：オレム・アンダーウッド理論			講義
4	こころの健康と日常生活：オレム・アンダーウッド理論			講義
5	こころの病と病期の特性：急性期・慢性期・リハビリテーション期（社会的資源）			講義
6	こころの病と家族支援			講義
7	リエゾン・コンサルテーション（事例を通して、ターミナル期にある患者他）			講義
8	まとめ			テスト
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	精神看護学演習と同じ教科書を使用予定			
参考書	こころを癒す	南裕子編	講談社	1996・2,800円＋税
	リエゾン精神看護	野末聖香編	医歯薬出版株式会社	2006・4,800円＋税
その他の資料				
【評価方法】 出席 20% テスト 80%	【履修上の留意点】			